

雑字 558

文章と私

文は人なり。うまいこと書くと、左も右も

書きと、その通りだ。

その文章をよめば、もう、だ

そのだ。そのだ。本当はそうだが、と、若殿する

私もそのううに思っ、こいさ

同じような考えだといわれ、さういふ

若い人が、職業を、さうが、時、AIと関係する

職業が、そのと、矢張り、と言、こいさ

きつと、そのうう

夕夕、こいさの、銀行の、受付、又、こいさの

し、こいさ、も、改正にか、おろか、がある

先日、おろし、の、入、つ、系、だ

大生、エ、と、色、ど、り、美、しく、エ、び、が、つ、て、いる

おろし、だ、つ、て、お、お、つ、た、に、き、つ、て、いる

す、し、職、人、だ、ハ、イ、い、ら、つ、し、わ、い、と、い、き、つ、た、もの

で、ろ、い、と、か、つ、お、り、す、か、そ、う、い、つ、せ、の、中、に

た、つ、と、系、だ、の、だ

下、度、マ、ご、の、大、学、受、験、が、大、学、を、出、た、後、こ、い、さ

こ、い、さ、の、す、い、そ、ん、の、中、に、お、ろ、し、の、す、え、だ

世の中が急激に変化に随^{したが}って

戸^かどくイハ するもの けいそん

来る日も来る日も けいけんもな

文章をかりつゝ 拙人そのものか 文章は

もこのとを 今回もまたもう一匹 文わう

少し少かつゝ 第一

その人のやつ 新田記名が目

かがれま

新田記名が目といふの とうもすき

少かつゝ

過去にうん存とをい 新田人の

てもうの 人がか

私^のエ^の世^には ながあ

2/20
2/14